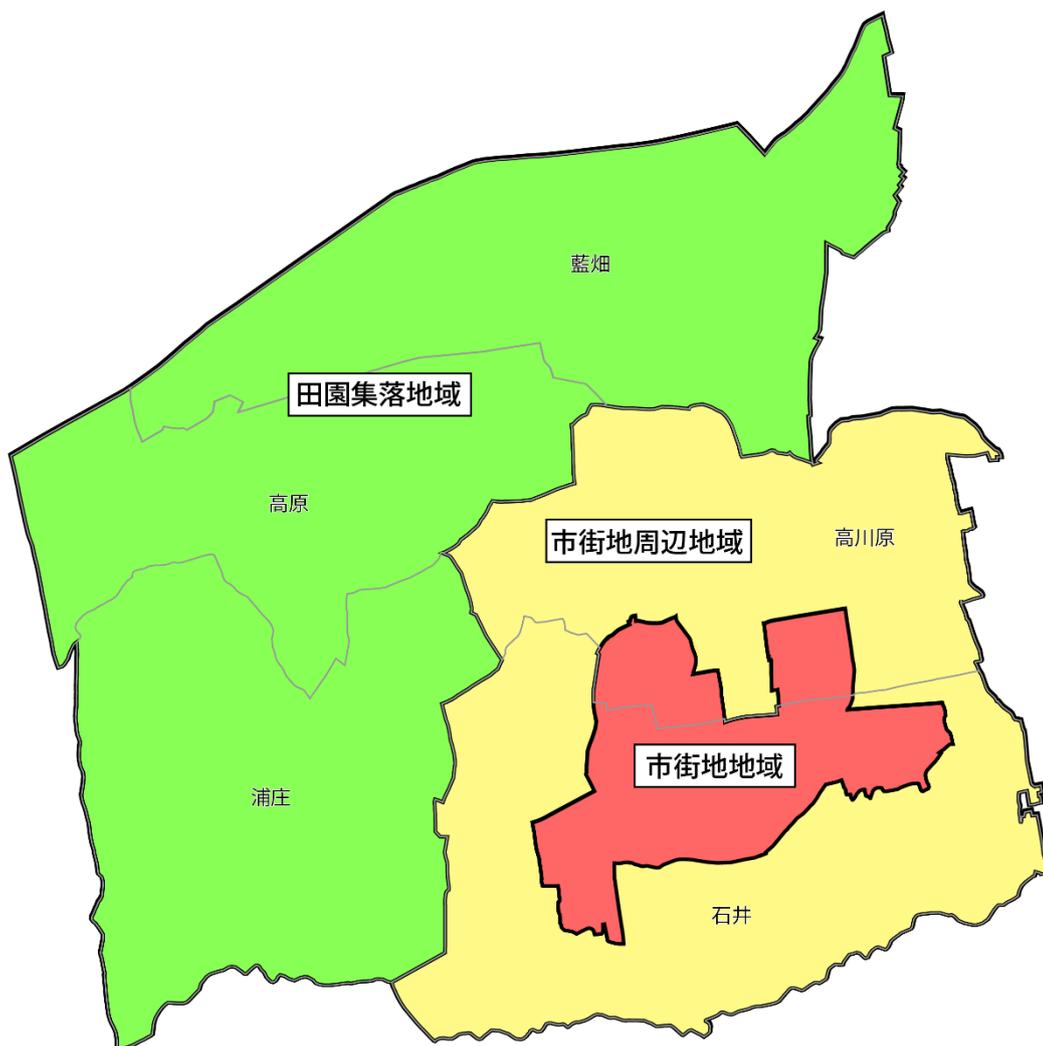


第3章 地域別構想

1. 地域区分の設定

地域別構想は、全体構想で示したまちづくりの将来都市像と基本目標を踏まえ、地域の現状や課題に応じたきめ細やかなまちづくりを進めていくための方針を示すものです。

地域別構想の地域設定は、全体構想のゾーニングや拠点の位置付け等を踏まえつつ、地形等の自然的条件、土地利用の状況など、適切かつまとまりのある空間の範囲とし、生活圏域や共通する土地利用上の課題などから、次の3つの地域区分とします。



2. 地域別のまちづくり方針

2-1. 市街地地域

(1) 地域の概況・特性

市街地地域は、J R石井駅を中心とする地域であり、飯尾川と渡内川に挟まれた平地に位置しています。

土地利用の現況としては、住宅地の割合が 36.8%と最も高く、都市的土地利用が大半を占めています。

人口は、平成 27 年国勢調査時点で 9,506 人となっており、人口推移は微増傾向にあります。人口密度は平成 27 年国勢調査時点で 34.4 人/ha となっています。

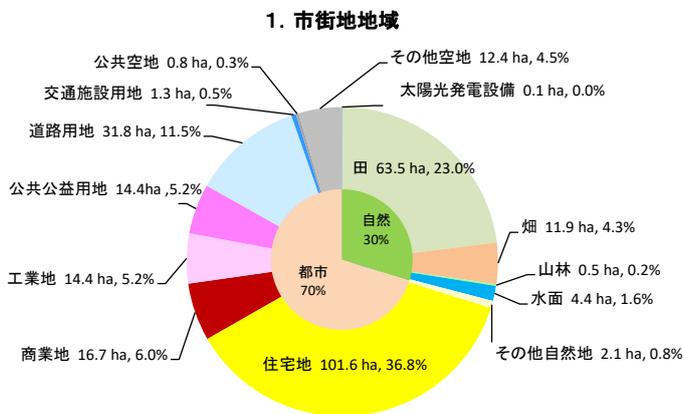
住居系用途地域を中心に居住地が形成されています。国道 192 号沿道や高川原 27 号線沿いには商業施設の立地が見られます。また、工業系用途地域には工場の集積が見られます。

主要幹線道路としては、国道 192 号や石井引田線などが通っています。

石井町役場をはじめ、地域防災交流センターなどの公共公益施設が立地しています。



市街地地域 位置図



出典：都市計画基礎調査

地域区分	H22 国勢調査 人口 (人)	H27 国勢調査 人口 (人)	H22-H27 人口 増減率 (%)	面積 (ha)	H27 国勢調査 人口密度 (人/ha)
市街地地域	9,405	9,506	101%	276	34.4
町全体	25,954	25,590	99%	2,895	8.8

出典：都市計画基礎調査



石井町役場



工業系用途地域

(2) 市街地地域のまちづくりの目標と方針

『にぎわい』のまちづくり

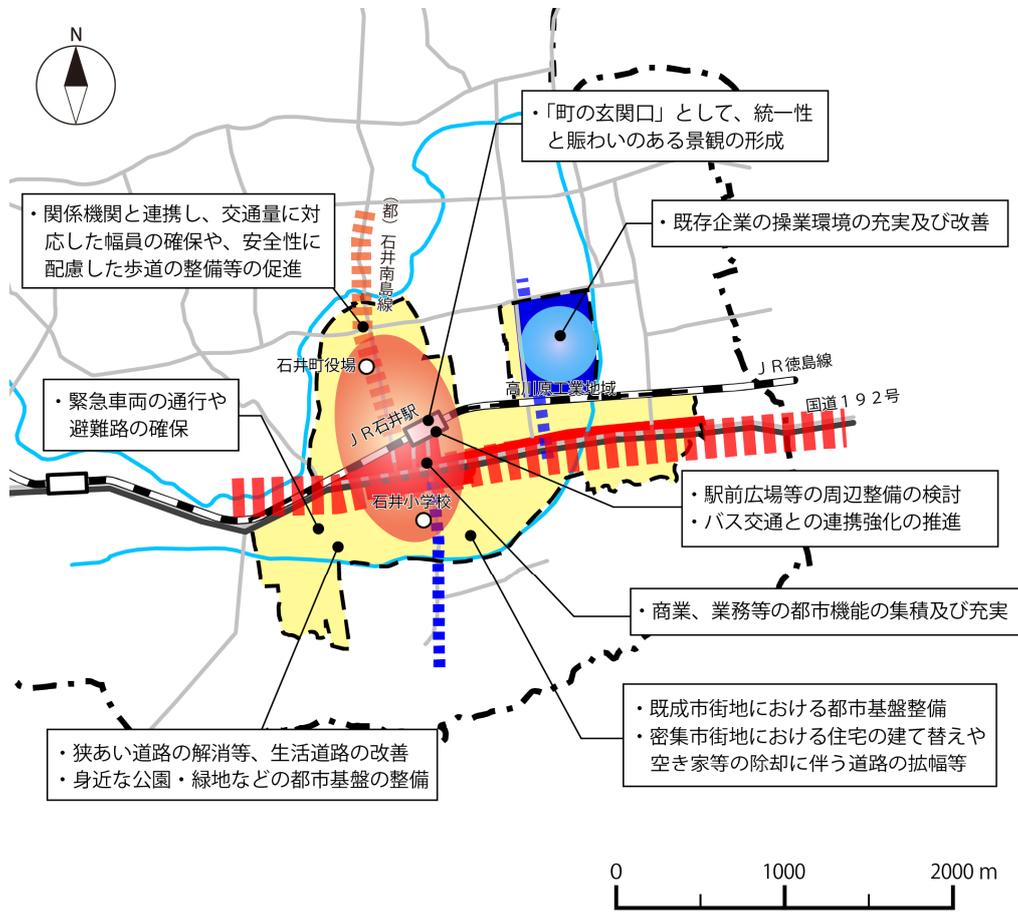
市街地地域は、役場をはじめ公共施設や商業施設などの生活サービス施設が集積するとともに、J R徳島線や国道 192 号などの公共交通網も充実し、まとまった居住地が形成されるなど本町の中心となっている地域です。そのため、生活サービス施設のさらなる集積や都市基盤の充実等を図り、魅力溢れる活気のあるまちとして、“賑わいのまちづくり”を目指します。

分野	方針
土地利用 (住) (商工業) (沿道)	○町外からの移住・定住の受け皿を確保するため、市街化区域内の低未利用地や空き家等を有効活用した住宅基盤の整備などを図り、住居系市街地への誘導を促進します。 ○J R石井駅前の密集市街地では、住宅の建て替えや空き家等の除却に伴う道路の拡幅等により、居住環境の改善に努めます。 ○用途地域として商業地域に指定されているJ R石井駅周辺や石井地区国道 192 号周辺は、地域一体となった商業・業務等の都市機能の集積・充実により、石井町の中心市街地として賑わいのある都市空間の形成に努めます。 ○空き地、空き店舗の活用や民間活力の導入による商業機能を充実させることにより、地域の活性化を図ります。 ○用途地域として工業地域に指定され、工場が立地している既設の工業系市街地は、地域経済を支える産業基盤として適切な維持を図ります。 ○産業構造の変化等により用途転換が望まれる工業用地等については、用途地域の見直し等を行い、土地の有効活用を図ります。 ○工業地域における産業基盤の整備などにより、低未利用地を活用した新たな企業誘致を促進するとともに、既存企業の操業環境の充実・改善を図ります。
道路・交通 (道路) (都市計画道路) (公共交通)	○都市計画道路石井南島線は、道路交通の円滑化に合わせて、歩行者及び自転車の安全確保のため、引き続き国や県と連携して整備を促進します。 ○石井町の玄関口となるJ R石井駅の魅力を高めるため、駅前広場等の周辺整備を検討します。 ○公共交通の利用促進に向け、J Rとバスの乗り継ぎ利便性等の連携強化を図ります。
都市施設整備 (公園・緑地)	○低未利用地、耕作放棄地等を活用し、身近な公園等の確保に努めます。 ○災害時の活動拠点となる公園・緑地は、災害時に利用できるよう老朽化対策を進めるとともに、緊急物資の集積機能など必要な機能の充実を検討します。

第3章 地域別構想

分野	方針
住環境整備	○市街地整備事業などの導入を検討し、狭あい道路の解消等の生活道路の改善や身近な公園・緑地などの都市基盤の整備を促進します。 ○商店間の連携による商店街の景観整備やイベントの開催等、個性豊かで利便性の高い商店街の形成を図ります。
防災対策	○密集市街地における狭あい道路の改善により、緊急車両の通行や避難路の確保を図ります。
自然環境保全・景観形成	○JR石井駅の周辺は「まちの玄関口」として、統一性と賑わいのある景観の形成に努めます。

■市街地地域構想図



凡 例			
	住居系市街地		広域幹線道路網
	商業系市街地		都市間幹線道路網
	工業系市街地		地域内道路網
	中心拠点		JR徳島線
	産業拠点		地域界
			行政界

2-2. 市街地周辺地域

(1) 地域の概況・特性

市街地周辺地域は、市街地を囲む地域であり、南部は徳島市に接する山地が広がっています。

土地利用の現況としては、田の割合が37.9%と最も高く、次いで山林が23.1%と自然的土地利用が大半を占めています。

人口は、平成27年国勢調査時点で6,071人となっており、人口推移は概ね横ばいとなっています。人口密度は平成27年国勢調査時点で6.2人/haとなっています。

高川原西地区や山麓部にまとまった居住が見られるほか、農地と調和した住宅地が形成されています。

高川原西地区では近隣市町村からも集客力のある大型商業施設が立地しています。

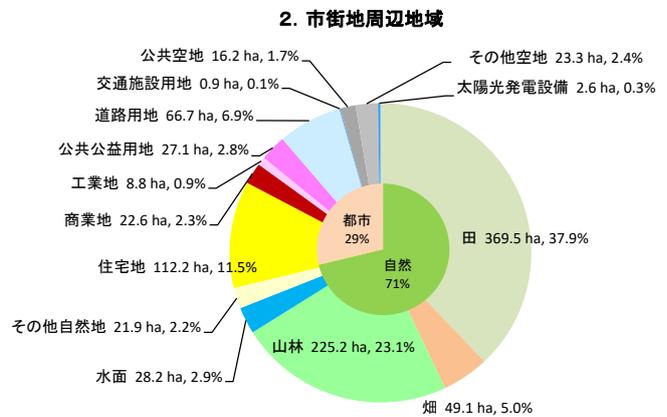
主要幹線道路としては、主要地方道徳島鴨島線、石井引田線などが通っています。

南部には徳島県農林水産総合技術支援センターが立地しています。

阿波国分尼寺跡や野鳥の森などの歴史・自然資源や飯尾川公園など多くのレクリエーション資源を有しています。



市街地周辺地域 位置図



出典：都市計画基礎調査

地域区分	H22 国勢調査 人口 (人)	H27 国勢調査 人口 (人)	H22-H27 人口 増減率 (%)	面積 (ha)	H27 国勢調査 人口密度 (人/ha)
市街地周辺地域	6,084	6,071	100%	974	6.2
町全体	25,954	25,590	99%	2,895	8.8

出典：都市計画基礎調査



大型商業施設



前山公園

(2) 市街地周辺地域のまちづくりの目標と方針

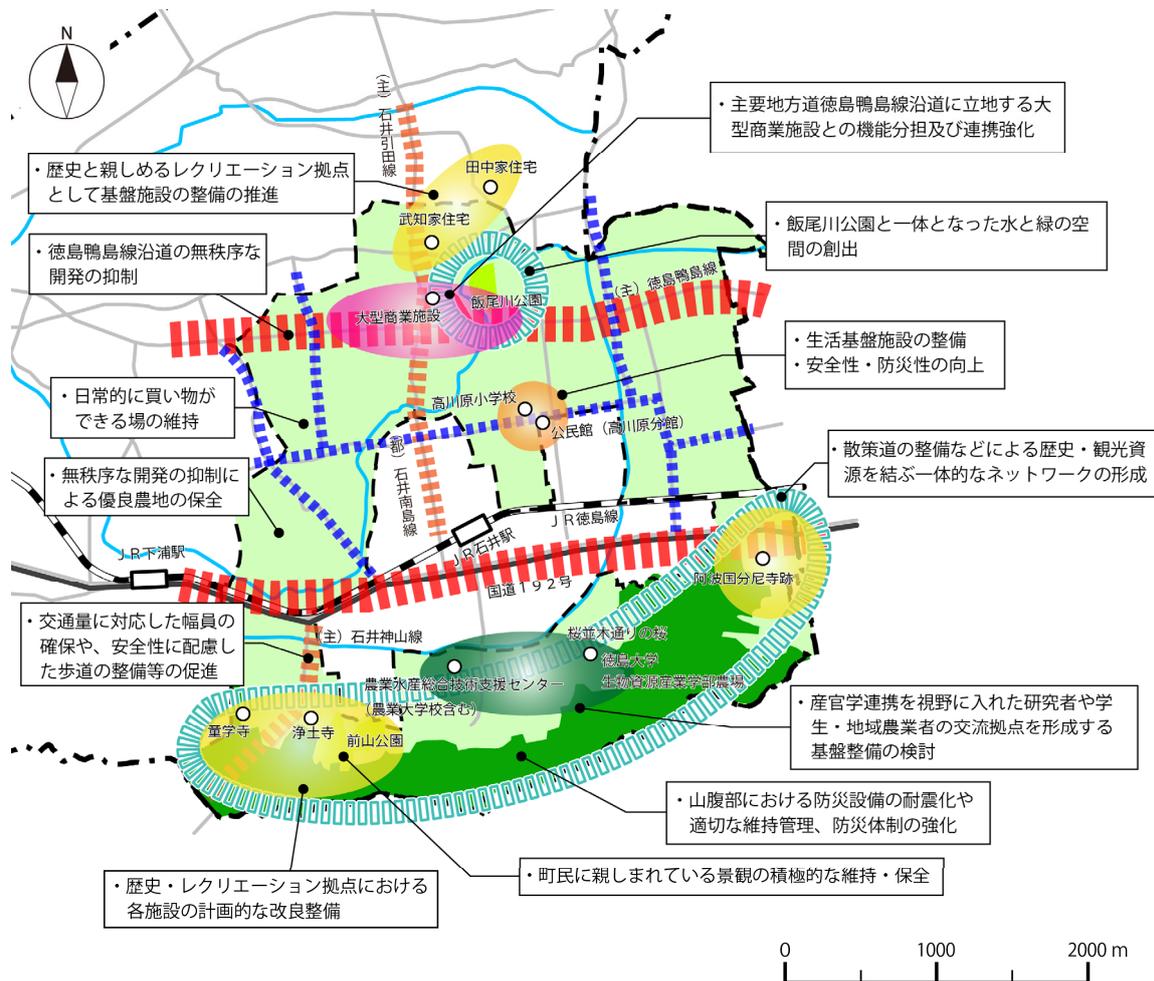
『つどい』のまちづくり

市街地周辺地域は、阿波国分尼寺跡や前山公園、大規模商業施設等、集客力の高い施設が立地しています。そのため、地域住民だけではなく、他市町からの来訪者など多くの人々が集まり行き交うまちとして、“集いのまちづくり”を目指します。

分野	方針
土地利用 (住) (商工業) (沿道)	○主要地方道徳島鴨島線沿道の高川原西地区計画区域では、JR石井駅周辺や石井地区国道192号周辺の地元商店と、主要地方道徳島鴨島線沿いの大型商業施設との機能分担及び連携強化に努めます。 ○主要地方道徳島鴨島線沿道の無秩序な市街地の拡散防止に配慮するため、地区計画等により適正な土地利用の誘導を図ります。 ○集落の周辺に広がる優良農地は、無秩序な開発を抑制し、積極的に農地の保全を図ります。 ○貴重な緑資源となっている当該地域には、野鳥の森や神社・仏閣等の文化財も立地していることから、森林環境の保全に配慮しつつ適切な森林施業の推進や、森林レクリエーション基盤の整備等を検討します。
道路・交通 (都市計画道路) (公共交通)	○主要地方道石井神山線等の都市間幹線道路網は、関係機関と連携し、交通量に対応した幅員の確保、安全性に配慮した歩道の整備等を促進します。 ○大型商業施設を利用したパークアンドライドを推進します。
都市施設整備 (公園・緑地) (公共施設)	○飯尾川沿いは親水空間としての整備を検討し、飯尾川公園と一体となった水と緑の空間の創出に努めます。 ○前山公園、童学寺一帯と阿波国分尼寺跡地周辺を、歴史・レクリエーション拠点と位置づけ、計画的な施設の改良整備を図ります。 ○散策道の整備などにより、歴史・観光資源を結ぶ一体的なネットワークの形成を図ります。 ○石井町清掃センター及び石井町クリーンセンターの維持管理に努めるとともに、民間事業者の施設についても、適正な維持管理を促進します。
住環境整備	○既存のコンビニや商店等の日常的に買い物ができる場の維持に努めます。 ○SOHOやサテライトオフィスなどの労働形態の需要を見据え、必要な環境整備による新たな雇用創出を目指します。 ○徳島県立農林水産総合技術支援センター農業大学校等周辺は、農業の最先端の研究学園拠点として、産官学連携を視野に入れた研究者や学生・地域農業者の交流拠点を形成する基盤整備を検討します。

分野	方針
防災対策	○山腹における土砂災害警戒区域等においては、関係機関と連携し、防災設備の耐震化や適切な維持管理、防災体制の強化を図ります。
自然環境保全・景観形成	○桜並木や前山公園などの町民に親しまれている景観については、積極的な維持・保全に努めます。 ○寺社や寺跡などは、本町の歴史を今に伝える歴史的景観として保全に努めます。

■市街地周辺地域構想図



凡 例			
	商業系市街地		歴史・レクリエーション拠点
	農業生活ゾーン		広域幹線道路網
	緑の丘陵地ゾーン		都市間幹線道路網
	生活拠点		地域内道路網
	交流拠点		J R 徳島線
	産官学連携・研究学園拠点		地域界
	水と緑の拠点		行政界

2-3. 田園集落地域

(1) 地域の概況・特性

田園集落地域は、北部を吉野川が流れ、南部は神山市に接する山地に囲まれた豊かな農地が広がる地域です。

土地利用の現況としては、田の割合が30.2%と最も高く、次いで畑が19.5%と自然的土地利用が大半を占めています。

人口は、平成27年国勢調査時点で10,013人となっており、人口推移は減少傾向となっています。人口密度は平成27年国勢調査時点で6.1人/haとなっています。

竜王地区や下浦地区にまとまった居住が見られるほか、農地と調和した住宅地が形成されています。

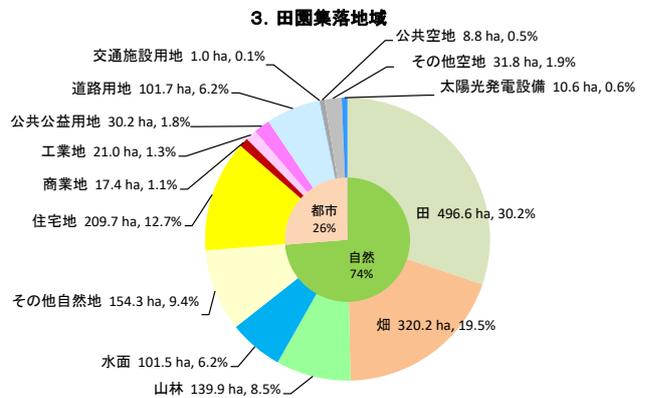
主要幹線道路としては、国道192号や主要地方道徳島鴨島線などが通っています。

生活拠点として位置づけている各地区の公民館や小学校が立地しています。

市街地周辺地域との境界付近に、国指定重要文化財である田中家住宅が立地しています。



田園集落地域 位置図



出典：都市計画基礎調査

地域区分	H22 国勢調査 人口 (人)	H27 国勢調査 人口 (人)	H22-H27 人口 増減率 (%)	面積 (ha)	H27 国勢調査 人口密度 (人/ha)
田園集落地域	10,465	10,013	96%	1,645	6.1
町全体	25,954	25,590	99%	2,895	8.8

出典：都市計画基礎調査



矢神のイチヨウ



農業後継者クラブ

(2) 田園集落地域のまちづくりの目標と方針

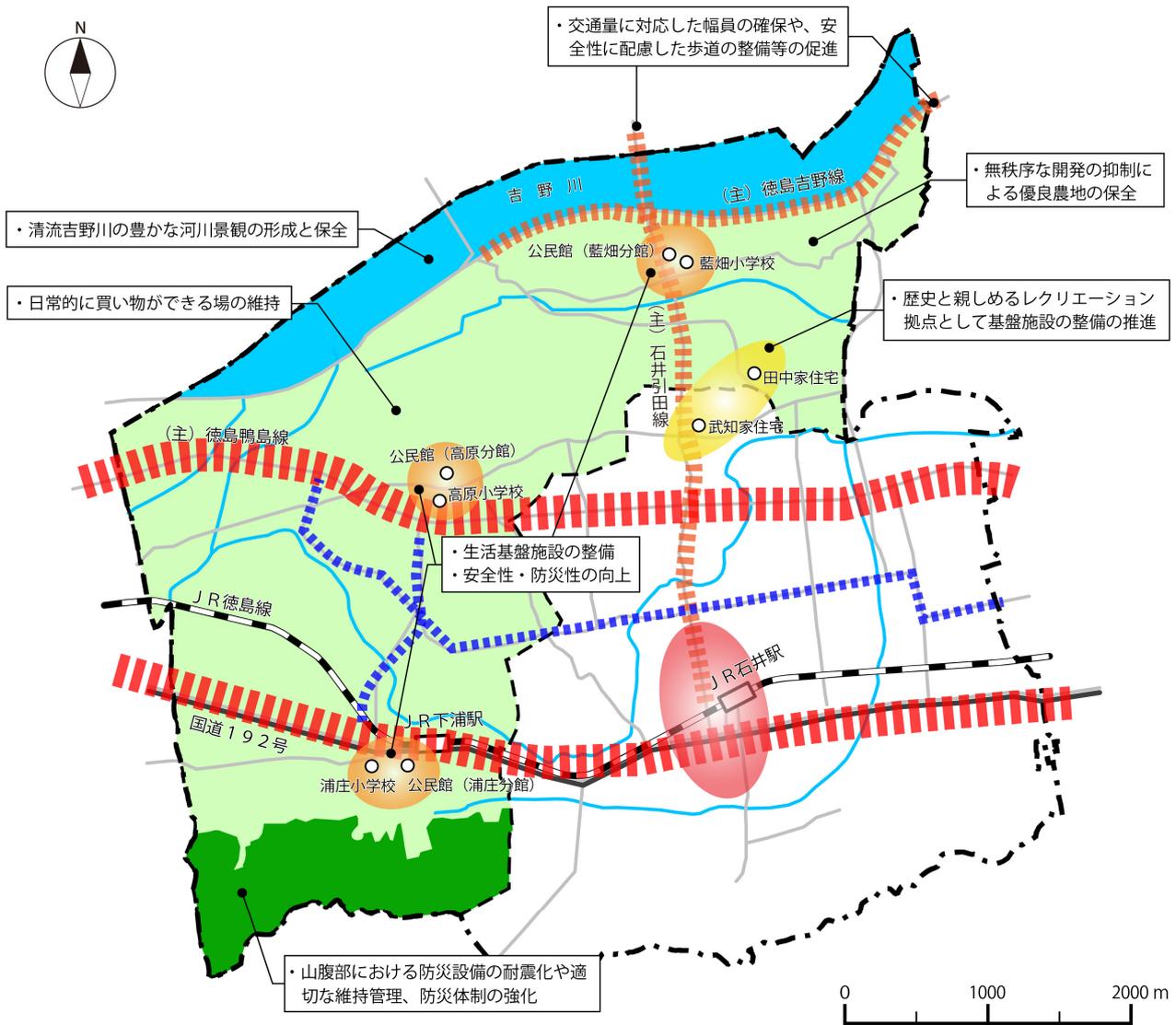
『はぐくみ』のまちづくり

田園集落地域は、肥沃な農地が広がるほか、吉野川など豊かな自然があります。そのため、優良農地を保全するとともに、住宅と農地が調和したゆとりある住環境を形成し、日常的に自然に触れ合い豊かな感性を育むことのできるまちとして、“育みのまちづくり”を目指します。

分野	方針
土地利用 (住) (商工業) (沿道)	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館等を中心として形成される各地区の生活拠点では、人口の定着を図り、地域の活力や地域コミュニティの維持向上を図ります。 ○防災性・生活利便性の向上に向け、集落基盤施設の整備を図り、暮らしやすい集落環境の形成に努めます。 ○集落の周辺に広がる優良農地は、無秩序な開発を抑制し、積極的に農地の保全を図ります。 ○耕作放棄地を活用した観光農園や体験農業施設の整備などにより、新たな農地の活用方策と農業に親しむ機会の創出に努めます。
道路・交通 (都市計画道路) (公共交通)	<ul style="list-style-type: none"> ○徳島吉野線等の都市間幹線道路網は、関係機関と連携し、交通量に対応した幅員の確保や、安全性に配慮した歩道の整備等を促進します。 ○JR下浦駅については、駅周辺の駐輪・駐車場を活用したパークアンドライドの推進等、駅の利便性向上の検討に努めます。
都市施設整備 (公園・緑地)	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の活動拠点となる公園・緑地については、災害時に利用できるよう老朽化対策を進めるとともに、緊急物資の集積機能など、必要な機能の充実を検討します。
住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○既存のコンビニや商店等の日常的に買い物ができる場の維持に努めます。 ○SOHOやサテライトオフィスなどの労働形態の需要を見据え、必要な環境整備を図り、新たな雇用創出を目指します。
防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ○山腹における土砂災害警戒区域等においては、関係機関と連携し、防災設備の耐震化や適切な維持管理、防災体制の強化を図ります。 ○台風等による河川氾濫を防止するため、吉野川等の河川改修の実現に向け、国・県等の関係機関への要望に努めます。
自然環境保全・景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ○耕作放棄地や空き家等を活かした日帰り型、滞在型のグリーンツーリズムの導入を検討します。 ○近隣市町村と連携しながら、吉野川の雄大な景色と第十堰の景観等の保全に努めます。

第3章 地域別構想

■ 田園集落地域構想図



凡 例			
	農業生活ゾーン		広域幹線道路網
	河川保全ゾーン		都市間幹線道路網
	緑の丘陵地ゾーン		地域内道路網
	中心拠点		J R 徳島線
	生活拠点		地域界
	歴史・レクリエーション拠点		行政界